

鹿児島県内企業「メインバンク」動向調査（2024）

トップは鹿児島銀行、シェア 51.45%を占める

昨年に続き、鹿児島銀行が全体の半分以上を占める結果に

人口減少や超低金利の長期化による収益環境の悪化など、厳しい経営環境が続いてきた金融機関は、政策金利の引き上げなどが追い風となり収益が改善しつつある。こうした環境下、従来の貸し出しシェア競争から一線を画し、コロナ禍で疲弊した中小企業の経営を立て直すといった役割が地域金融機関に求められており、中小企業の「メインバンク」の選択にも影響を与える可能性がある。

帝国データバンク鹿児島支店では、2024 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録、特殊法人・個人事業主含む）から鹿児島県内企業（約 1 万 8,000 社）が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

鹿児島県 メインバンクシェア上位 5 行

（単位:社）

2024年					2023年	
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	社数	シェア
1	鹿児島	9,161	51.45%	+0.29	8,985	51.16%
2	鹿児島相互信金	2,301	12.92%	▲ 0.31	2,324	13.23%
3	南日本	2,001	11.24%	+0.04	1,966	11.20%
4	鹿児島信金	1,193	6.70%	+0.01	1,174	6.69%
5	鹿児島興業信組	614	3.45%	▲ 0.11	626	3.56%

【注】本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

調査結果（要旨）

1. シェア、増加社数ともにトップは「鹿児島銀行」の 9161 社（シェア 51.45%、前年比 +0.29pt、増加社数+176 社）
2. 業種別では主要 7 業種全てで鹿児島銀行がトップ
3. 業態別では「地方銀行」のシェア、全業態でトップの 40.28%も 11 年ぶりに前年比低下

1.鹿児島県金融機関ランキング 2024

シェア、メイン社数増 ともにトップは「鹿児島銀行」の 9161 社

鹿児島県内企業がメインバンクとして認識している金融機関のシェアトップは「鹿児島銀行」で、企業数は9161社、シェア51.45%（前年比+0.29pt）を占めた。2位は「鹿児島相互信金」の2301社で12.92%（▲0.31pt）、3位は「南日本銀行」の2001社で11.24%（+0.04pt）と続き、上位3行のシェアは75.61%と、全体の7割以上を占める結果となった。

順位をみると、1位から13位までは前年と変わらず、前年16位だった「福岡銀行」が順位を上げて14位となった。

シェアの増減をみると、上位10社のうち、シェアを伸ばしたのは3つの金融機関にとどまった。上昇率では、1位の「鹿児島銀行」が0.29pt増で最も高く、3位の「南日本銀行」が0.04pt増と続いた。

なお、1位の「鹿児島銀行」と「鹿児島相互信金」との差は38.53ptで、前年の37.93ptから0.6pt差が拡大した。

全国的に浸透が進んでいる「ネット銀行（新形態の銀行）」ではあるが、鹿児島県内企業でメインバンクとして利用している企業は10社にとどまった。

鹿児島県 メインバンクシェア 上位20行

2024年						2023年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	鹿児島	9,161	+176	51.45%	+0.29	1	8,985	+79	51.16%	+0.20
2	鹿児島相互信金	2,301	▲ 23	12.92%	▲ 0.31	2	2,324	▲ 26	13.23%	▲ 0.22
3	南日本	2,001	+35	11.24%	+0.04	3	1,966	+41	11.20%	+0.18
4	鹿児島信金	1,193	+19	6.70%	+0.01	4	1,174	▲ 7	6.69%	▲ 0.07
5	鹿児島興業信組	614	▲ 12	3.45%	▲ 0.11	5	626	▲ 11	3.56%	▲ 0.08
6	奄美大島信金	444	+3	2.49%	▲ 0.02	6	441	▲ 6	2.51%	▲ 0.05
7	奄美信組	348	▲ 5	1.95%	▲ 0.06	7	353	▲ 3	2.01%	▲ 0.03
8	宮崎	323	+4	1.81%	▲ 0.01	8	319	+19	1.82%	+0.10
9	宮崎太陽	130	▲ 6	0.73%	▲ 0.04	9	136	+1	0.77%	±0.00
10	熊本	124	▲ 6	0.70%	▲ 0.04	10	130	+5	0.74%	+0.02
11	三井住友	86	▲ 4	0.48%	▲ 0.03	11	90	▲ 4	0.51%	▲ 0.03
12	商工中金	80	±0	0.45%	▲ 0.01	12	80	±0	0.46%	±0.00
13	九州信漁連	65	+2	0.37%	+0.01	13	63	▲ 1	0.36%	▲ 0.01
14	福岡	60	+4	0.34%	+0.02	16	56	+2	0.32%	+0.01
15	西日本シティ	58	▲ 2	0.33%	▲ 0.01	14	60	+6	0.34%	+0.03
16	みずほ	54	▲ 6	0.30%	▲ 0.04	14	60	▲ 4	0.34%	▲ 0.03
17	あまみ農協	47	▲ 2	0.26%	▲ 0.02	17	49	▲ 3	0.28%	▲ 0.02
18	ゆうちょ	42	▲ 3	0.24%	▲ 0.02	18	45	▲ 1	0.26%	±0.00
18	鹿児島きもつき農協	42	±0	0.24%	±0.00	19	42	+1	0.24%	+0.01
18	鹿児島県信連	42	+3	0.24%	+0.02	20	39	+2	0.22%	+0.01

2.業種別ランキング：主要 7 業種全てで鹿児島銀行がトップ

鹿児島県内企業がメインバンクとして認識している金融機関を主要 7 業種別にみると、全ての業種で「鹿児島銀行」が 1 位を占め、いずれの業種も 2 位以下に大差をつけた。

2 位は『建設』『製造』『卸売』『小売』『運輸・通信』の 5 業種が「鹿児島相互信金」、『サービス』『不動産』の 2 業種が「南日本銀行」となった。

なお、順位をみると、『小売』において前年 11 位の「西日本シティ銀行」が 10 位にランクインした。ほか 6 業種では多少の順位の変動はみられたものの、顔ぶれに変化はみられなかった。

鹿児島県 業種別メインバンクシェア

建設業 2024年						2023年						運輸・通信業 2024年						2023年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比				
1	鹿児島	2,674	+62	52.11%	+0.70	1	2,612	51.41%	+0.48	1	鹿児島	268	▲6	46.94%	▲1.38	1	274	48.32%	▲0.45				
2	鹿児島相互信金	746	▲14	14.54%	▲0.42	2	760	14.96%	▲0.16	2	鹿児島相互信金	102	+9	17.86%	+1.46	2	93	16.40%	+0.08				
3	南日本	691	+16	13.47%	+0.19	3	675	13.28%	+0.11	3	南日本	61	+2	10.68%	+0.27	3	59	10.41%	▲0.29				
4	鹿児島信金	398	+1	7.76%	▲0.05	4	397	7.81%	▲0.16	4	鹿児島信金	37	±0	6.48%	▲0.05	4	37	6.53%	+0.04				
5	鹿児島興業信組	226	▲8	4.40%	▲0.21	5	234	4.61%	▲0.10	5	鹿児島興業信組	22	±0	3.85%	▲0.03	5	22	3.88%	▲0.33				
6	奄美大島信金	117	+1	2.28%	±0.00	6	116	2.28%	▲0.11	6	奄美大島信金	14	±0	2.45%	▲0.02	6	14	2.47%	+0.01				
7	奄美信組	109	+0	2.12%	▲0.03	7	109	2.15%	▲0.01	7	商工中金	11	±0	1.93%	▲0.01	7	11	1.94%	+0.01				
8	宮崎	40	▲4	0.78%	▲0.09	8	44	0.87%	+0.04	8	奄美信組	10	▲1	1.75%	▲0.19	7	11	1.94%	+0.01				
9	宮崎太陽	35	±0	0.68%	▲0.01	10	35	0.69%	▲0.02	8	宮崎	10	±0	1.75%	▲0.01	9	10	1.76%	+0.18				
9	熊本	35	▲1	0.68%	▲0.03	9	36	0.71%	+0.02	10	宮崎太陽	8	+1	1.40%	+0.17	10	7	1.23%	+0.18				

製造業 2024年						2023年						サービス業 2024年						2023年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比				
1	鹿児島	684	+4	51.35%	+0.38	1	680	50.97%	+0.34	1	鹿児島	2,889	+113	59.49%	▲0.32	1	2,776	59.81%	±0.00				
2	鹿児島相互信金	185	▲3	13.89%	▲0.20	2	188	14.09%	▲0.15	2	南日本	412	+22	8.48%	+0.08	3	390	8.40%	▲0.01				
3	南日本	127	+4	9.53%	+0.31	3	123	9.22%	+0.20	3	鹿児島相互信金	401	▲1	8.26%	▲0.40	2	402	8.66%	+0.05				
4	鹿児島信金	83	▲1	6.23%	▲0.07	4	84	6.30%	▲0.19	4	鹿児島信金	252	+8	5.19%	▲0.07	4	244	5.26%	+0.10				
5	鹿児島興業信組	41	▲1	3.08%	▲0.07	5	42	3.15%	+0.02	5	奄美大島信金	113	+2	2.33%	▲0.06	5	111	2.39%	▲0.03				
6	奄美大島信金	30	±0	2.25%	±0.00	6	30	2.25%	+0.09	6	鹿児島興業信組	105	+2	2.16%	▲0.06	6	103	2.22%	±0.00				
7	宮崎	25	±0	1.88%	+0.01	7	25	1.87%	▲0.07	7	奄美信組	81	▲1	1.67%	▲0.10	7	82	1.77%	▲0.03				
8	奄美信組	18	▲2	1.35%	▲0.15	8	20	1.50%	▲0.14	8	宮崎	80	▲1	1.65%	▲0.10	8	81	1.75%	+0.21				
9	商工中金	16	±0	1.20%	±0.00	9	16	1.20%	+0.01	9	三井住友	31	▲3	0.64%	▲0.09	9	34	0.73%	▲0.04				
10	熊本	14	+1	1.05%	+0.08	10	13	0.97%	±0.00	10	宮崎太陽	29	▲4	0.60%	▲0.11	10	33	0.71%	+0.01				
卸売業 2024年						2023年						不動産業 2024年						2023年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比				
1	鹿児島	837	+5	48.63%	+0.62	1	832	48.01%	+0.25	1	鹿児島	462	+4	48.68%	+0.06	1	458	48.62%	▲0.49				
2	鹿児島相互信金	232	▲11	13.48%	▲0.54	2	243	14.02%	▲0.56	2	南日本	134	+5	14.12%	+0.43	2	129	13.69%	+0.31				
3	南日本	215	▲4	12.49%	▲0.15	3	219	12.64%	+0.24	3	鹿児島相互信金	123	+2	12.96%	+0.11	3	121	12.85%	±0.00				
4	鹿児島信金	124	+1	7.21%	+0.11	4	123	7.10%	▲0.02	4	鹿児島信金	65	±0	6.85%	▲0.05	4	65	6.90%	+0.11				
5	鹿児島興業信組	65	±0	3.78%	+0.03	5	65	3.75%	▲0.10	5	宮崎	34	+2	3.58%	+0.18	5	32	3.40%	+0.27				
6	宮崎	56	+4	3.25%	+0.25	6	52	3.00%	+0.01	6	鹿児島興業信組	29	▲1	3.06%	▲0.12	6	30	3.18%	▲0.06				
7	奄美大島信金	37	+1	2.15%	+0.07	7	36	2.08%	+0.01	7	奄美大島信金	14	+1	1.48%	+0.10	7	13	1.38%	▲0.08				
8	奄美信組	30	+1	1.74%	+0.07	8	29	1.67%	+0.12	8	宮崎太陽	10	▲2	1.05%	▲0.22	8	12	1.27%	+0.12				
9	熊本	18	▲6	1.05%	▲0.33	9	24	1.38%	+0.06	8	熊本	10	+2	1.05%	+0.20	10	8	0.85%	+0.12				
10	三井住友	16	±0	0.93%	+0.01	10	16	0.92%	▲0.06	10	奄美信組	9	±0	0.95%	▲0.01	9	9	0.96%	▲0.08				
小売業 2024年						2023年						その他 2024年						2023年					
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	シェア	シェア 前年比				
1	鹿児島	981	▲14	42.39%	▲0.02	1	995	42.41%	±0.00	1	鹿児島	366	+8	39.27%	+0.23	1	358	39.04%	+0.18				
2	鹿児島相互信金	382	▲6	16.51%	▲0.03	2	388	16.54%	▲0.23	2	鹿児島相互信金	130	+1	13.95%	▲0.12	2	129	14.07%	▲1.19				
3	南日本	294	▲6	12.71%	▲0.08	3	300	12.79%	+0.59	3	南日本	67	▲4	7.19%	▲0.55	3	71	7.74%	+0.71				
4	鹿児島信金	203	+6	8.77%	+0.37	4	197	8.40%	▲0.22	4	宮崎	35	+2	3.76%	+0.16	4	33	3.60%	+0.20				
5	奄美大島信金	107	▲3	4.62%	▲0.07	5	110	4.69%	▲0.09	5	鹿児島信金	31	+4	3.33%	+0.39	6	27	2.94%	▲0.13				
6	鹿児島興業信組	104	▲4	4.49%	▲0.11	6	108	4.60%	▲0.09	6	鹿児島ききもつ農協	28	±0	3.00%	▲0.05	5	28	3.05%	+0.20				
7	奄美信組	83	▲2	3.59%	▲0.03	7	85	3.62%	▲0.09	7	九州信漁連	27	+1	2.90%	+0.06	7	26	2.84%	▲0.12				
8	宮崎	43	+1	1.86%	+0.07	8	42	1.79%	+0.08	8	鹿児島興業信組	22	±0	2.36%	▲0.04	8	22	2.40%	▲0.23				
9	宮崎太陽	22	±0	0.95%	+0.01	9	22	0.94%	±0.00	9	そお鹿児島農協	19	±0	2.04%	▲0.03	9	19	2.07%	+0.20				
10	西日本シティ	11	±0	0.48%	+0.01	11	11	0.47%	±0.00	10	あまみ農協	15	±0	1.61%	▲0.03	10	15	1.64%	▲0.12				

3.業態別の動向

「地方銀行」のシェア、全業態でトップの 40.28%も 11 年ぶりに前年比低下

業態別にみると、シェアが最も高かったのは「地方銀行」で 40.28%だった。全業態で唯一シェア 40%以上を維持したものの、2016～2022 年にかけて続いたシェア拡大の動きは 23 年にストップし、24 年は 11 年ぶりにシェア低下へと転じた。23-24 年調査にかけてメインバンクを「地方銀行から変更した」企業約 4 千社の動向をみると、変更先として最も多いのが「信用金庫」の 1768 社（構成比 43.63%）だった。中小零細企業を中心に、より地域や経営に密着した信用金庫に代わる動きが進んでいる可能性がある。次いで「第二地方銀行」（937 社、構成比 23.12%）、「メガバンク」（725 社、同 17.89%）、「信用組合」（308 社、同 7.60%）が続いた。

今後の見通し

低金利競争から「金利ある世界」に移行 メイン行に「目利き力」問われる局面迫る

日本銀行が昨年 3 月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化するなど、長期にわたって続いた低金利・ゼロ金利の経営環境から「金利のある世界」への移行が進んでいる。今後、金利の上昇で利払い負担が増加し、金融機関に支援を求める中小企業が増えてくることが想定されるなか、貸出金利の引き上げ動向が企業における今後のメインバンク選択に影響を与える可能性がある。

金融機関は、コロナ禍をしのぐために借り入れた債務負担が重い中小企業に対して、事業再生を支援する役割が強く求められるようになった。足元では、再生支援を担う部署や新会社の設立などで事業再生ビジネスに本格的に参入する金融機関も相次ぐ。こうした局面では、地域の中小企業に特に密着した＝「小回りの利く」融資や、経営問題を解決まで導く支援ノウハウ、企業の事業価値を適切に把握する「目利き力」が欠かせない。他方で、長期にわたる低金利での貸し出し競争が常態化してきたことや、中小企業金融円滑化法など各種の手厚い金融支援もあり、貸し出しの現場における融資規律の緩みや「目利き力」の低下といった問題が指摘されている。

多くの金融機関に対しては、相次ぐ地銀の再編や拠点の統廃合、人員など組織のスリム化を背景に「地元の中小零細企業にきめ細かな対応ができるのか」という懸念もある。融資先企業のニーズに沿った金融・経営支援をどう展開できるのか、メインバンクとして支援する店舗型金融機関の手腕が注目される。

株式会社帝国データバンク 鹿児島支店

【TEL】:099-223-8208

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。